

公安委員会の開催概要

公安委員会は、令和7年4月10日（木）に開催された。

1 決裁事項

秋田県留置施設視察委員会委員の選考について

2 報告事項

(1) 110番通報の受理状況について（令和6年中）

県警察から、令和6年中の110番通報受理状況に関する報告があった。

令和6年中の110番総受理件数は4万3,801件で、前年比933件（2.1%）減少した。

このうち有効な件数は3万3,581件で、前年比1,524件（4.3%）減少し、いたずら等の非有効件数は1万220件で、前年比591件（6.1%）増加した。

110番通報の内容別では、交通事故等が1万3,713件と最も多く、次いで各種情報が8,292件となっている。

また、有効な110番通報のうち、各種照会、要望・苦情・相談などの緊急性の低い通報が4,757件と、有効件数全体の14.2%を占めているとのことであった。

委員から、「対応に遅れが生じないように、引き続きレスポンスタイム短縮に向けて対策を講じていただきたい。」「緊急の対応を要しない110番通報を減らすため、各種広報や相談電話番号等の周知に努めていただきたい。」との発言があった。

(2) 行方不明者の取扱状況について（令和6年中）

県警察から、令和6年中の行方不明者の取扱状況（暫定値）に関する報告があった。

令和6年中の行方不明者の届出受理数は413人（前年比50人減少）で、うち高齢者は148人（前年比15人減少）であった。

認知症高齢者の早期発見対策としては、広報用動画及びポスターを公募し、入賞作品による広報活動等を継続しているほか、警察犬、ヘリコプター、防犯カメラ等を活用した初動発見活動の強化をしているとのことであった。

委員から、「行方不明者の早期発見には、地域のネットワークが欠かせないため、地域住民や事業所、行政機関等との連携を更に強化していただきたい。」との発言があった。